

社会学研究室文献リスト〔2010 年度〕

- ・明日香壽川／河宮未知生／高橋潔／吉村純／江森正多／伊勢武史／増田耕一／野沢徹／川村賢二／山本政一郎，2009，『地球温暖化懷疑論批判』サステナビリティ学連携研究機構／地球持続戦略研究イニシアティブ．
- ・安達正嗣，1999，『高齢期家族の社会学』世界思想社．
- ・サイド・アブデルワーヘド（岡真理／TUP 訳），2009，『ガザ通信』青土社．
- ・阿部亮吾，2003，「フィリピン・バブ空間の形成とエスニシティをめぐる表象の社会的構築 名古屋栄ウォーク街を事例に」『人文地理』55(4):1-23．
- ・阿部亮吾，2005，「フィリピン人女性エンターテイナーのパフォーマンスをめぐるポリティクス ミクロ・スケールの地理に着目して」『地理学評論』78(14):951-975．
- ・「いらないっしょ！原子力発電」意見広告全道連絡会編，1998，『「いらないっしょ！原子力発電」報告集』．
- ・岩間信之，2010，「日本における食の砂漠 フードデザート問題の現状と課題」『生活協同組合研究』416:23-34．
- ・宇田和子，2010，「カネミ油症事件の発生前史 油症事件の前提をなす事実をめぐる考察」『法政大学大学院紀要』64:147-156．
- ・打越正行，2010，「〈地元〉の不変性とダイナミズム 〈地元〉周縁に生きる沖縄の下層若者から」『理論と動態』3:19-37．
- ・占部慎一，2007，『子供たちの逸脱・非行 生き方のパラダイム変化と文化的分化の視座から』学文社．
- ・小笠原広親／小野紀明／藤原保信，1987，『政治思想史』有斐閣．
- ・片山健也，2002，「ニセコ町での一般廃棄物最終処分場の建設」『地方自治職員研修』35(5):40-42．
- ・加藤正嗣，2002，「名古屋市民は、こうしてごみを減らした 葛藤、共同、また葛藤、そして新たな協働を模索中」『廃棄物学会誌』13(3):161-167．
- ・門倉貴史，2006，『統計数字を疑う なぜ実感とズレるのか？』集英社新書．
- ・釜ヶ崎支援機構（特定非営利法人）／大阪市立大学大学院創造都市研究科編，2008，『「若年不安定就労・不安定住居者聞き取り調査」報告書 「若年ホームレス生活者」への支援の模索』．
- ・亀山哲郎，2007，『北極圏のアウシュビッツ 知られざる世界文化遺産』ブッキング．
- ・河合雅雄／林良博，2009，『動物たちの反乱 増えすぎるシカ、人里へ出るクマ』PHP サイエンスワールド新書．
- ・河上徹太郎／西谷啓治／諸井三郎／鈴木成高／菊池正士／下村寅太郎／吉満義彦／小林秀雄／亀井勝一郎／林房雄／三好達治／津村秀夫／中村光夫／竹内好，1979，『近代の超克』富山房百科文庫．
- ・北川清一／小林理編，2008，『子どもと家庭の支援と社会福祉 子ども家庭福祉入門』ミネルヴァ書房．

- ・北野進, 2005, 『珠洲原発・阻止へのあゆみ 選挙を闘いぬいて』七つ森書館.
- ・桑原正史／桑原三恵, 2003, 『巻原発・住民投票への軌跡』七つ森書館.
- ・フランソワ・ケネー (戸田正雄／増井健一訳), 1933=1956, 『経済表 (改版)』岩波文庫.
- ・ケンジ・ステファン・スズキ, 2003=2006, 『[増補版] デンマークという国 自然エネルギー先進国 [風のがっこう] からのレポート』合同出版.
- ・胡喬木 (尾崎庄太郎訳), 1951=1953, 『中国共産党の三〇年』国民文庫.
- ・児島和人, 1999, 『講座社会学 8 社会情報』東京大学出版会.
- ・木立真直, 2010, 「フードデザート問題と地域再生の展望」『生活協同組合研究』416:5-13.
- ・後藤道夫, 2009, 「貧困と格差の最新状況と深めるべき論点」『季刊自治と分権』36:63-96.
- ・小林雅之, 2008, 『進学格差 深刻化する教育費負担』ちくま新書.
- ・財界九州編集部, 2000, 「公的資金を投入してでも『シーガイアをつぶせない』理由」『財界九州』2000.3:20-26.
- ・シェストフ (植野修司訳), 1968, 『迷宮の哲学』雄渾社.
- ・塩田武史, 2008, 『僕が写した愛しい水俣』岩波書店.
- ・四手井綱英, 1974, 『日本の森林 国有林を荒廃させるもの』中公新書.
- ・島村菜津, 2009, 『スローな未来へ 「小さな町づくり」が暮らしを変える』小学館.
- ・城繁幸, 2008, 『3年で辞めた若者はどこへ行ったのか アウトサイダーの時代』ちくま新書.
- ・杉山和明, 1999, 「社会空間としての夜の盛り場 富山市『駅前』地区を事例として」『人文地理』51(4):68-81.
- ・鈴木広監修, 2002, 『地域社会学の現在』ミネルヴァ書房.
- ・生協総合研究所編, 2010, 「特集:若年層の就業とキャリア形成」『生活協同組合研究』415:4-49.
- ・関満博／古川一郎編, 2008, 『「B 級グルメ」の地域ブランド戦略』新評論.
- ・関満博／古川一郎編, 2009, 『「ご当地ラーメン」の地域ブランド戦略』新評論.
- ・アマルティア・セン／後藤玲子, 2008, 『福祉と正義』東京大学出版会.
- ・武田龍夫, 2003, 『物語スウェーデン史 バルト大国を彩った国王、女王たち』新評論.
- ・橘木俊昭／浦川邦夫, 2007, 「日本の貧困と労働に関する実証分析」『日本労働研究雑誌』563:4-19.
- ・田辺太一 (坂田精一訳・校注), 1898=1966, 『幕末外交談 1・2』東洋文庫.
- ・谷岡一郎, 2007, 『データはウソをつく 科学的な社会調査の方法』ちくまプリマー新書.
- ・玉里恵美子, 2009, 『限界集落化を超えて 集落再生へ 高知からの発信』ふくろう出版.
- ・田村秀, 2006, 『データの罠 世論はこうしてつくられる』集英社新書.
- ・俵浩三, 1996, 「士幌高原道路はムダな公共事業 行政の継続性という役所のメンツで推進」『北海道の自然』34:34-39.
- ・豊田直巳, 2002, 『写真集 イラクの子供たち』第三書館.
- ・豊田直巳, 2004, 『写真集 イラク戦争下の子供たち』第三書館.
- ・中井美樹, 2009, 「就業機会、職場権限へのアクセスとジェンダー ライフコースパースペク

- ティヴによる職業キャリアの分析」『社会学評論』59(4):699-715.
- ・ NO DU ヒロシマ・プロジェクト／ICBUW 編, 2008, 『ウラン兵器なき世界をめざして ICBUW の挑戦』合同出版.
 - ・ のら社同人編, 1976=2005, 『壊死する風景 三里塚農民の生とことば 増補版』創土社.
 - ・ 針生勤, 2010, 「春採湖のヒブナ」釧路市立博物館.
 - ・ 日高六郎, 1960, 『現代イデオロギー』勁草書房.
 - ・ 部落解放・人権研究所編, 2005, 『排除される若者たち フリーターと不平等の再生産』解放出版社
 - ・ 平和博物館を創る会編, 1994, 『写真物語 アウシュヴィッツの手紙』平和のアトリエ.
 - ・ 堀田恭子, 2010, 「食品公害問題における社会的アプローチの検討」『立正大学人文科学研究年報』47:25-36.
 - ・ 本田由紀, 2008, 『軋む社会 教育・仕事・若者の現在』双風社.
 - ・ 丸山茂徳, 2008, 『「地球温暖化」論に騙されるな!』講談社.
 - ・ 望田幸男／三宅正樹編, 1982, 『概説ドイツ史 現代ドイツの歴史的 Understanding』有斐閣選書.
 - ・ 森千香子, 2006, 「『施設化』する公営団地」『現代思想』34(14):100-108.
 - ・ 森千香子, 2007, 「郊外団地と『不可能なコミュニティ』」『現代思想』35(7):174-182.
 - ・ 森政稔, 2008, 『変貌する民主主義』ちくま新書.
 - ・ 森住卓, 1999, 『セミパラチンスク 草原の民・核汚染の 50 年』高文研.
 - ・ 薬師院仁志, 2002, 『地球温暖化論への挑戦』八千代出版.
 - ・ 山秋真, 2007, 『ためされた地方自治 原発の代理戦争にゆれた能登半島・珠洲市民の 13 年』桂書房.
 - ・ 山本英弘, 1999, 『社会運動の動態と政治的機会構造 宮城県における社会運動イベントの計量分析』1999 年度東北大学大学院文学研究科修士学位論文.
 - ・ 渡辺靖, 2010, 『アメリカン・デモクラシーの逆説』岩波新書.
-
- ・ Arendt, H., 1951=1968, *The Origins of Totalitarianism: Part One: Antisemitism*, Harcourt, Brace & World, Inc., New York. (=大久保和郎訳, 1972, 『全体主義の起原Ⅰ 反ユダヤ主義』みすず書房).
 - ・ Arendt, H., 1951=1968, *The Origins of Totalitarianism: Part Two: Imperialism*, Harcourt, Brace & World, Inc., New York. (=大島通義／大島かおり訳, 1972, 『全体主義の起原Ⅱ 帝国主義』みすず書房).
 - ・ Arendt, H., 1951=1968, *The Origins of Totalitarianism: Part Three: Totalitarianism*, Harcourt, Brace & World, Inc., New York. (=大久保和郎／大島かおり訳, 1974, 『全体主義の起原Ⅲ 全体主義』みすず書房).
 - ・ Cliff, T., 1959, *Rosa Luxemburg, International Socialism*, London. (=浜田泰三訳, 1968, 『ローザ・ルクセンブルク』現代思潮社)

- Fromm, E., 1964, *The Heart of Man: Its Genius for Good and Evil*, Harper & Row, New York.
(=鈴木重吉訳, 1965, 『悪について』 紀伊國屋書店).
- Hobhouse, L.T., 1911, *Liberalism*, Oxford University Press. (=吉崎祥司監訳, 2010, 『自由主義 福祉国家への思想的転換』 大月書店).
- Lines, T., 2008, *Making Poverty: A History*, Zed Books, London and New York. (=渡辺景子訳, 2009, 『貧困の正体』 青土社).
- OECD, 1976, *Social Science Policy: Japan*, Paris, OECD. (=文部省訳／矢野暢解説, 1980, 『日本の社会科学を批判する』 講談社学術文庫).
- Sen, A.K., 1981, *Poverty and Famines: An Essay on Entitlement and Deprivation*, Oxford University Press, Oxford. (=黒崎卓／山崎幸治訳, 2000, 『貧困と飢饉』 岩波書店).
- Wacquant, L., 1999, *Les Prisons de la Misere*, Seuil(Editions Raisons d'agir). (=森千香子／菊池恵介訳, 2008, 『貧困という監獄 グローバル化と刑罰国家の到来』 新曜社).

社会学ゼミであつかった文献一覧＜2010 年度＞

- 熊本博之, 2008, 「環境正義の観点から描き出される『不正義の連鎖』 米軍基地と名護市辺野古区」『環境社会学研究』 14:219-233.
- 太郎丸博, 2008, 「社会階層論と若年非正規雇用」, 直井優／藤田英典編, 『講座社会学 13 階層』 東京大学出版会, pp.201-220.
- 吉川徹, 2009, 『学歴分断社会』 ちくま新書.
- 蓮見音彦, 2007, 「開発と地域社会の変動」, 蓮見音彦編, 『講座社会学 3 村落と地域』 東京大学出版会, pp.131-168.
- 奥田道大, 2002, 「現代大都市のエスニック・コミュニティ」, 鈴木広監修, 『地域社会学の現在』 ミネルヴァ書房, pp.111-129.
- 荻谷剛彦, 1995, 『大衆教育社会のゆくえ 学歴主義と平等神話の戦後史』 中公新書.